

関係各位

福井市遺族連合会  
青壮年部次世代の会  
会長 泉和弥

### 「次世代の会」からのご案内

菊薫る候、各位におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、福井市遺族連合会青壮年部次世代の会にお力添えいただき厚く御礼申し上げます。

さて、私たちの父、母、親族は遺族会の一員として恒久平和と英霊の顕彰に力を尽くしてきました。しかしながら戦後70有余年が過ぎ会員の高齢化と共に遺族会の在り方も次第に変わりつつあります。そのようななか後世に平和の大切さを伝え、身近にある英霊の顕彰碑等の護持していくことは次の世代である私たちに課せられた大きな課題であると言えます。

県内各市町に結成された「次世代の会」は、活動の輪が広がりを見せています。今後とも主旨をご理解の上「次世代の会」ならびに各地区遺族会の活動にご協力賜りますようお願いいたします。

### 近況報告1

八月十四、十五日には、新宮司就任と令和改元になって最初の「みたま祭」が行われた。太鼓、パレエ、チャタンスの奉納芸能やお宝撒き、民謡大会などがあり、境内には若い家族ら大勢の人で賑わった。十五日は英霊感謝大祭が斎行され、正午には全国戦没者追悼式に合わせて英霊に黙祷を捧げた。

春江町次世代の会長 加藤 哲務  
私は昨年六月に春江町遺族会次世代の会が発足した時より会長という立場を拝命し、現在に至っています。私自身、地域のまちづくり活動を十数年続けていたことで、目に留まったことからかなと思っていました。

**千鳥ヶ淵墓苑参拝旅行**  
本会次世代の会副会長 吉村富士雄  
吉村 吉村 吉村  
皆様にはご健勝のこと存じます。今回の請願参拝は次世代の会の会員勤務事情を映して頂き、一泊二日の新企画が組み込まれた。次世代の会の請願参拝日程は五月十六日(日)から二十七日(月)に二〇人がバス一台に乗車。一方、親会は二十八日迄の二泊三日でバス六台の日程。総勢二六〇人余りバス七台の参加規模。次回は次世代の会でバスが満車になる四〇人超えの参加をお待ちしています。私事、御英霊伯父の末弟叔父(81歳)と共に参拝し、伯父命に挨拶をと願願。初日のバス乗換後の車中で全員に自己紹介をフリートークでお願ひして東京に向かう道中、車内は和気あいあいと熱意が伝わる素晴らしい内容の連続に共鳴。そのついで、トランプ米大統領領土に関わる交通規制の懸念が現実となる首都高速道路通行止の情報が渋滞回避するが、千鳥ヶ淵墓苑参拝は残念ながら見送り、靖国神社に一時間遅れの十六時頃着。靖国境内で記念写真撮影、参集殿で川崎会長挨拶に始まり、杉本英霊顕彰奉賛会長、国会議員三方の来賓挨拶。昇殿の間で参拝を終える十七時頃。本殿や外苑散策と思いが出発時間七時

**護国神社「みたま祭」**  
八月十四、十五日には、新宮司就任と令和改元になって最初の「みたま祭」が行われた。太鼓、パレエ、チャタンスの奉納芸能やお宝撒き、民謡大会などがあり、境内には若い家族ら大勢の人で賑わった。十五日は英霊感謝大祭が斎行され、正午には全国戦没者追悼式に合わせて英霊に黙祷を捧げた。

場を拝命し現在に至っています。私自身、地域のまちづくり活動を十数年続けていたことで、目に留まったことからかなと思っていました。しかし、どんな活動をすればよいかわからず、他の次世代の会の役員さん方と共に手探り状態で、模索し続けているところです。そんな折、春江町遺族会の役員の方より「参拝したことが無いなら、一度参拝して」といふ、しかも普通参拝と違って、昇殿参拝ができるから是非行ってみよう、靖国神社参拝を勧められ、自己の認識を広げるためにもいいかもと思ひ、今回参加した次第です。私は祖父の顔をアルバムや遺影で見せていまして、母もまだ幼い頃に父を亡くしたというので、母から祖父のことが語られることはありませぬ。祖父のことは、在りし日の祖母から聞いたのを覚えていて、祖母によりまして、祖父は召集令状が届いて船江三六連隊に入隊し、程なくして大陸に向かったとのこと。しかし、戦火のなか若輩。命は取留められたものの「傷痍軍人」となった祖父は福井に戻ってきて、治療の甲斐なく亡くなったとのこと。私は神社仏閣巡りが趣味で、各地の神社には何回となく参拝していますが初めての靖国参拝ということで、少し緊張していました。どの様な気持ちでお祈りすればいいのかわからず、迷ってしまいました。しかし、二百数十名が連なり昇殿に昇っていく様、それなりに誰の口を開けることもなく厳粛に進行していく様を見て、気持ちがすっと落ち着いていく感覚がわかりました。ふと顔を上げると、正面の鏡に写真でしか見ださなかった祖父が「よう参った」と言っている姿が一瞬見えた気がしました。と同時に、私の脳裏に浮かんだのは、十五年ほど前に見学した際見た、江田島の術科学校の学徒出陣する若者たちが記した、遺書とも判読できる手紙でした。今後七機会があれば靖国神社参拝はしたいと思っております。

### 近況報告2

福井県内では、13の市・町において約1,200名の次世代の会会員登録があります。福井市遺族会では、参拝行事や追悼式への参列が、今年度のおもな事業となっています。

今後、ホームページの開設や次世代の会独自の活動を行って行きたいと思っておりますので、さらなるご協力をお願いいたします。

### 近況報告3

**わたしの平成**  
奥野治樹さん(53) = 敦賀市、市遺族次世代の会会長  
2017年に戦没者遺族の高齢化に伴い発足した次世代の会の初代会長に選ばれた。第2次世界大戦で20代前半だった伯父がフィリピンで戦死し、祖母から戦争の悲惨さや遺族の悲しみを聞いて育った。昭和から平成、令和へと時代が変わっても戦争を風化させてはいけない。遺族に限らず、国民全員で、戦争の悲惨さや悲しさを語り継いでいく時代になってほしい。

福井新聞社提供 (2019.4.25)

市町「次世代の会」設立状況			
市町	設立年月日	会員数	会長名
福井市	H29.11.18	154	泉 和弥
坂井市	H30.9.15	386	釣部 勝
永平寺町	H30.9.2	30	多田 晴彦
越前市	H30.9.22	94	南山 孝
鯖江市	H30.7.15	50	吉村富士雄
越前町	H30.9.24	45	渡邊 俊之
池田町	H30.7.28	7	廣田 暢
敦賀市	H29.3.12	91	奥野 治樹
小浜市	H31.3.30	119	小南 忠明
若狭町	H29.9.3	102	河原 伸明
美浜町	H30.8.26	88	大塩 友之
おおい町	H30.3.4	17	小西 克信
高浜町	H30.9.18	34	大塚ひとみ
13市町		1,217	

### 第六十八回 福井県戦没者追悼式

八月二十四日(土) サンドーム福井にて挙行

爽やかな涼風が吹き渡る八月二十四日(土) サンドーム福井に於いて第六十八回福井県戦没者追悼式が挙行された。朝早くから県内各地より戦没者遺族約二千名が貸切バスなどで続々と会場に到着した。県戦没者追悼式は、十時三十分県健康福祉部長の開式の辞で始まり、国歌斉唱、新福井県民歌斉唱、黙祷に続き、杉本知事は式辞で「戦争の記憶が風化されないよう、戦没者の方々が心から求められた世界平和に向け、誰もが安心して暮らせる社会を築くことが私たちに課せられた責務」と述べられた。各界代表の追悼の辞に続いて、八田会長は「本日令和元年最初の県戦没者追悼式を挙げていただき感謝と感激の極みです。今後共次世代の方々と共に、英霊顕彰を継承していく任務を果たして参りたい」と追悼の辞を述べられた。ご来賓の献花に続き、遺族会の献花は今年から、各市町遺族会長、女性部長、次世代会長の三名づつ献花をさせていただきました。厳粛な中、次世代会長が次々に献花される姿に感動を覚え、心温まる追悼式になったことを嬉しく思った。最後に若い世代の献花が行われ、越前町の渡辺貞二さん一家八名と美浜町の上登能健二さん一家三名が菊花を捧げた。続いて、県知事表彰が行われ下記の

十一名の方々が遺族援護功労者として表彰された。引き続き、県遺族会長表彰が行われ下記の十九名の方々が遺族援護功労者として表彰された。式典を無事終えた遺族一同は、深く頭を垂れ、嶺北・嶺南に鎮まります三一九三〇柱のご英霊に感謝と平和への祈りを捧げた。帰りには、嶺北(嶺南)忠霊場に立ち寄り、ご英霊に感謝の黙祷を捧げ、帰路に着いた。



### ご案内(参加者募集) 県次世代の会主催

### 次世代のつどい参加者を募集しています。

今回は、稲田朋美衆議院議員を講師に迎え英霊顕彰と恒久平和への思いを述べていただきます。

開催日時 令和元年 10月27日(日曜日) 午前11時00分～  
場所 福井県護国神社 白鳳会館  
参加費 お一人 2,000円  
10月10日までに 福井市遺族連合会までご連絡ください。  
☎ 21-2422 FAX 21-2433